



【カブトムシの幼虫が川島小学校に仲間入りしました。】

6月3日(水)、NPO法人太鼓の楽校竹林整備事業の中西さんがカブトムシの幼虫を持って来てくださいました。中西さんから川島小学校の子どもたちに「竹林で生まれたカブトムシ。幼虫はカブトムシの赤ちゃん!大切に育ててね!」というメッセージがありました。

カブトムシの幼虫は、1階の職員玄関に置いています。

「カブトムシの幼虫を観察する際に注意すること」は、「①ふたをあけない。」「②ケースをたたかない。」「③しずかに見る。」の3つです。

カブトムシの幼虫が仲間入りをしたことで、子どもたちの生き物への優しい気持ちが増えます。これから、大切にみんなで観察していきましょう。

(※3年生が、理科の学習でモンシロチョウの観察をしています。カブトムシの幼虫の観察とお世話もしてくれます。)



【1階職員玄関にいます。】



【6月5日(金)の様子です。】

幼虫の色は白かったです。少し動いていました。



【6月8日(月)現在の様子です。】

幼虫の色がだんだんと茶色になり、形も変わってきています。

これからどのようにカブトムシに育っていくのでしょうか。楽しみです。